

**大学及び養成所において履修すべき科目及び履修すべき科目の到達目標
(報告書へのインプット案)**

○大学及び養成所において履修すべき科目

1. 基礎動物学 (360 時間)	⑤動物臨床検査学 (30 時間)
①生命倫理・動物福祉 (30 時間)	⑥動物医療コミュニケーション (30 時間)
②動物形態機能学 (120 時間)	
③動物繁殖学 (30 時間)	
④動物行動学 (30 時間)	4. 愛護・適正飼養学 (210 時間)
⑤動物栄養学 (60 時間)	①愛玩動物学 (60 時間)
⑥比較動物学 (60 時間)	②人と動物の関係学 (30 時間)
⑦動物看護関連法規 (15 時間)	③適正飼養指導論 (60 時間)
⑧動物愛護・適正飼養関連法規 (15 時間)	④動物生活環境学 (30 時間)
	⑤ペット関連産業概論 (30 時間)
2. 基礎動物看護学 (270 時間)	5. 実習 (600 時間)
①動物看護学概論 (30 時間)	①動物形態機能学実習 (30 時間)
②動物病理学 (30 時間)	②動物内科看護学実習 (120 時間)
③動物薬理学 (60 時間)	③動物臨床検査学実習 (60 時間)
④動物感染症学 (90 時間)	④動物外科看護学実習 (90 時間)
⑤公衆衛生学 (60 時間)	⑤動物臨床看護学実習 (60 時間)
	⑥動物愛護・適正飼養実習 (60 時間)
3. 臨床動物看護学 (360 時間)	⑦動物看護総合実習 (180 時間)
①動物内科看護学 (90 時間)	
②動物外科看護学 (60 時間)	
③動物臨床看護学総論 (30 時間)	
④動物臨床看護学各論 (120 時間)	

以上 計 1,800 時間

○履修すべき科目の到達目標

<基礎動物学>

生命倫理・動物福祉 (御意見を踏まえ、独立科目として位置付け)

概要

生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉（アニマルウェルフェア）について学ぶ。

到達目標

1. 生命倫理の概念
 - 1) 生命倫理の考え方について理解する
 - 2) 生命倫理と獣医療の関わりについて理解する
2. 動物福祉の概念
 - 1) 動物福祉の考え方について理解する
 - 2) 「5つの自由」（飢え・渇きからの自由、痛み・負傷・病気からの自由、不快からの自由、本来の行動がとれる自由、恐怖・抑圧からの自由）について理解する
 - 3) 世界と日本における近代及び現代の動物愛護運動について理解する
 - 4) 「動物の権利」、「動物福祉」思想や課題について理解する
 - 5) 動物福祉の生理学的指標及び行動的指標による評価法について理解する
 - 6) 安楽死の考え方について理解する
3. 愛玩動物の福祉
 - 1) 愛玩動物の適正飼育と福祉上の問題について理解する
 - 2) 国内外の動物保護活動について現状と課題について理解する
 - 3) 飼育放棄や殺処分問題、対策について理解する
 - 4) 動物虐待の定義（積極的な虐待とネグレクト）と現状、対策について理解する
 - 5) 飼育動物の災害時の対応について理解する
4. 産業動物の福祉
 - 1) 産業動物における福祉上の問題について理解する
 - 2) 国際的な福祉基準について理解する
 - 3) 産業動物の福祉を向上させるための具体的方法について理解する
5. 実験動物の福祉
 - 1) 実験動物における福祉上の問題について理解する
 - 2) 3R（Replacement（代替）、Reduction（削減）、Refinement（改善））の概念と具体的方法について理解する
6. 展示動物の福祉
 - 1) 展示動物における福祉上の問題について理解する
 - 2) 展示動物に対する環境エンリッチメントの種類と内容について理解する

生命倫理学

(資料1-3の論点1、生命倫理学を設けてはどうか)

概要

倫理は基本的には関係の学に他ならない、自然や動物と人間、及び人間と人間のそれぞれの関係を成り立たせている「理(ことわり)」が何である考えることで、その考察課程で特に「ケア」という視点から諸処の関係について理解する。

到達目標

1. 倫理とは何か

- 1) 倫理とは何か1：成立の根拠について理解する。
- 2) 倫理とは何か2：成立の根拠について理解する。
- 3) 生命倫理が要請されてきた背景について理解する
- 4) キュアからケアへの転換について理解する。

2. 命の価値とは

- 1) 科学技術としての医療の特徴について理解する
- 2) 科学の知と臨床の知、説明の言葉から理解の言葉を理解する
- 3) 原則倫理、状況倫理、責任倫理の可能性と限界について理解する
- 4) 遺伝管理社会：健康が義務となる社会について理解する
- 5) 生殖医療—人工授精・体外受精・代理母について理解する

3. 終末医療とは何か

- 1) 死の変容—心臓死—脳死・臓器移植・ドナーについて理解する
- 2) 安楽死・尊厳死について理解する
- 3) ターミナルケアについて理解する。
- 4) グリーフケアを理解する

4. 動物の権利と倫理

- 1) 動物の生存権を理解する
- 2) ヒトと動物の共存権を理解する

動物形態機能学

概要

動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する。

到達目標

1. 生命のすがた

- 1) 細胞の構造について理解する
- 2) DNAの働きについて理解する

- 3) 上皮組織、腺組織、支持組織、筋組織、神経組織について理解する
- 4) 器官の成り立ちと維持、調整システムについて理解する
2. 循環器とその調節
 - 1) 心臓の構造について理解する
 - 2) 心筋細胞の電気現象と心筋の興奮伝導系について理解する
 - 3) ポンプとしての心臓機能と心電図、心音について理解する
 - 4) 心臓機能の調節機構について理解する
 - 5) 血管の種類と構造、機能について理解する
 - 6) 血圧調節機構について理解する
3. 呼吸器とその調節
 - 1) 呼吸器の構造について理解する
 - 2) 換気の仕組みについて理解する
 - 3) 肺胞におけるガス交換について理解する
 - 4) 血液による酸素と二酸化炭素の運搬について理解する
 - 5) 呼吸運動の調節機構について理解する
4. 消化器と栄養代謝
 - 1) 消化管（口腔、咽頭、食道、胃、小腸、大腸）の構造と機能について理解する
 - 2) 消化腺（唾液腺、膵臓、肝臓）の構造と機能について理解する
 - 3) 消化と吸収の仕組みについて理解する
 - 4) 各種栄養素（糖質、タンパク質、脂質）の代謝について理解する
5. 内分泌とホルモン
 - 1) 内分泌の定義について理解する
 - 2) ホルモンの性質、機能、生成、分泌、フィードバック調節について理解する
 - 3) 主な内分泌臓器の構造と機能について理解する
 - 4) 主なホルモンの作用と標的器官について理解する
6. 泌尿器と体液調節
 - 1) 腎臓及びネフロンの構造と機能について理解する
 - 2) クリアランスの意味を知り、腎血漿流量と糸球体濾過量の調節機構について理解する
 - 3) 尿細管における再吸収と分泌、集合管における尿濃縮について理解する
 - 4) 体液の分布と区分、調節機構について理解する
 - 5) 電解質バランスについて理解する
 - 6) 酸・塩基平衡について理解する
7. 脳と神経
 - 1) ニューロンの構成と活動電位、シナプス伝達について理解する
 - 2) 脳の構造と機能について理解する
 - 3) 脊髄の構造と機能について理解する
 - 4) 体性神経の構成と機能について理解する

- 5) 自律神経の構成と機能について理解する
8. 運動器
 - 1) 骨格の構成について理解する
 - 2) 骨の形状と構造について理解する
 - 3) 関節の構造と働きについて理解する
 - 4) 骨格筋の構造と収縮機序について理解する
 - 5) 主な骨格筋について名称と機能について理解する
9. 血液と造血器
 - 1) 血球成分と血漿成分について理解する
 - 2) 赤血球の構造と機能について理解する
 - 3) 白血球の構造と機能について理解する
 - 4) 血小板機能と血液凝固機序及び線維素溶解について理解する
10. 皮膚と感覚器
 - 1) 皮膚の構造と機能について理解する
 - 2) 皮膚の付属器官について理解する
 - 3) 体性感覚（皮膚感覚）について理解する
 - 4) 特殊感覚（視覚、聴覚、平衡感覚、嗅覚、味覚）について理解する

動物繁殖学

概要

繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を習得する。

到達目標

1. 生殖器の形態と機能
 - 1) 生殖器（雌・雄）の基本構造について理解する
 - 2) 主要な性ホルモンの名称、産生部位及び標的器官について理解する
 - 3) 雄の繁殖生理について理解する
 - 4) 雌の繁殖生理について理解する
2. 性周期と交配
 - 1) 性成熟と発情徴候について理解する
 - 2) 排卵（自然排卵・交尾排卵）の仕組みについて理解する
 - 3) 性周期と腔細胞スメアの関係について理解する
 - 4) 交配適期の決定法について理解する
3. 妊娠と分娩
 - 1) 着床・発生・妊娠・胎子の発育について理解する
 - 2) 妊娠期間、偽妊娠について理解する
 - 3) 分娩と助産、帝王切開について理解する

- 4) 去勢・不妊手術について理解する
- 5) 人工授精について理解する
- 4. 新生子管理
 - 1) 新生子のための飼育環境について理解する
 - 2) 初乳の意義と哺乳について理解する
 - 3) 新生子の発育過程について理解する
- 5. 遺伝学概論
 - 1) 遺伝のメカニズムについて理解する
 - 2) さまざまな遺伝様式（顕性・潜性、伴性遺伝など）について理解する
 - 3) 遺伝子疾患、発生異常について理解する

動物行動学

概要

犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。

到達目標

- 1. 動物行動学の基礎
 - 1) 動物行動学の4つの問い（適応・進化・機構・発達）について理解する
 - 2) 行動の進化と適応、家畜化について理解する
 - 3) 生得的行動と学習行動について理解する
 - 4) 脳による行動制御について理解する
- 2. 個体維持行動
 - 1) 摂食及び飲水行動について理解する
 - 2) 排泄行動について理解する
 - 3) 身づくろい行動について理解する
 - 4) 護身行動について理解する
- 3. 発達過程と社会行動
 - 1) 発達ステージ（新生子期・移行期・社会化期・若年期・成熟期・高齢期）と各時期の行動学的特徴について理解する
 - 2) 生殖行動（性行動・母性行動）について理解する
 - 3) コミュニケーション行動について理解する
 - 4) 敵対行動と親和的行動について理解する
- 4. 学習理論
 - 1) 行動形成について理解する
 - 2) 馴化と感作について理解する
 - 3) 古典的条件づけとオペラント条件づけについて理解する
 - 4) 学習に影響を与える因子について理解する

- 5) 基本的なトレーニング法（トイレトレーニング、クレートトレーニング、甘噛み対策など）について理解する
5. 問題行動
 - 1) 問題行動の定義と要因（遺伝的要因、生得的要因、環境要因）について理解する
 - 2) 攻撃行動の種類、原因（動機づけ）と治療法について理解する
 - 3) 恐怖・不安に起因する問題行動の原因と治療法について理解する
 - 4) 不適切な排泄行動の原因（動機づけ）と治療法について理解する
 - 5) 老齢性認知機能低下の原因と症状、対応について理解する
6. 行動治療と予防
 - 1) 行動診療の進め方について理解する
 - 2) 行動修正法と環境修正法の種類と適応について理解する
 - 3) 行動治療における薬物療法について理解する
 - 4) 問題行動予防のため、適切な飼養方法としつけ、環境整備に関し、飼い主に指導すべき事項や方法について理解する
 - 5) 動物病院で行う子犬や子猫の社会化教室の、意義や方法について理解する

動物栄養学（御意見を踏まえ一部修正）

概要

5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法などを修得する。

到達目標

1. 基礎栄養
 - 1) 5大栄養素（糖質、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラル）について理解する
 - 2) 栄養要求の種差（必須アミノ酸や必須脂肪酸など）について理解する
 - 3) 食性、嗜好、嗜好性、摂食行動について理解する
 - 4) 食生活と摂食行動を理解し、健康にとっての食の持つ意味について理解する（事務局注：「3. フードと栄養指導」から移動）
 - 5) 栄養素の不足、過剰症について理解する
2. エネルギー要求量
 - 1) エネルギー要求量（RER、MER など）の意味と計算法について理解する
 - 2) 飼養標準（AAFCO や NRC による）について理解する
 - 3) ライフステージ（成長期、維持期、妊娠期、授乳期、老齢期）ごとの栄養管理について理解する
3. フードと栄養指導
 - 1) ペットフードの種類、分類について理解する
 - 2) ペットフードのラベル表示について理解し、飼い主に説明できる
 - 3) 中毒、与えてはいけないものについて飼い主に指導できる

- 4) 栄養状態の評価法（BCS、体脂肪測定など）について理解する
- 5) 肥満の弊害と減量プログラムの作成法について理解する
4. 疾患と栄養
 - 1) さまざまな疾患（食物アレルギー、消化器疾患、腎疾患、内分泌疾患等）時の食事療法について理解する
 - 2) 療法食の特徴や効果を理解し、飼い主に説明できる
5. 強制給餌と経管・静脈栄養法
 - 1) 強制給餌の方法と注意点について理解する
 - 2) 経管栄養法の種類（経鼻、食道、胃瘻チューブなど）と特徴、方法について理解する
 - 3) 静脈栄養法の種類（TPN、PPN）と特徴、方法について理解する
 - 4) チューブやカテーテルの設置手順と管理上の注意点について理解する

動物臨床栄養学

（資料 1 - 3 の論点 3、動物栄養学とは別に動物臨床栄養学を設けてはどうか）

概要

犬・猫のライフステージや疾病と栄養について、臓器別、症状別に学ぶ、食物アレルギーや過敏症、食事療法（療法食）、強制給餌、経管・経静脈栄養法について理解する。疾病予防的な栄養バランスについて理解する。

到達目標

1. 動物臨床栄養学の基礎
 - 1) 犬・猫の食性の違いを理解する
 - 2) 犬・猫の嗜好と嗜好性を理解する
 - 3) 犬・猫の代謝と養分要求量を理解する
 - 4) ボデイコンディションの評価を理解する
2. ライフステージと栄養
 - 1) ライフステージと栄養、母犬、母猫を理解する
 - 2) ライフステージと栄養、子犬、子猫を理解する
 - 3) ライフステージと栄養、シニア期、高齢期を理解する
3. 疾病と栄養
 - 1) 疾病と栄養、肥満に関連する疾患を理解する
 - 2) 疾患と栄養、食物アレルギーと食事管理を理解する
 - 3) 疾患と栄養、消化器疾患と強制給餌、経管・経静脈栄養法を理解する
 - 4) 疾患と栄養、肝臓疾患と食事管理を理解する
 - 5) 疾患と栄養、腎疾患と食事管理を理解する
 - 6) 疾患と栄養、尿石症と食事管理を理解する
 - 7) 疾患と栄養、内分泌疾患と食事管理を理解する

8) 疾患と栄養、歯周疾患と食事管理を理解する

比較動物学 (御意見を踏まえ一部修正)

概要

飼育動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼育管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物について学ぶ。

1. 動物の種類及び特性

1) 愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の飼育動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的位置付け及び特徴について理解する

2. 産業動物

- 1) 家畜（馬・牛・めん羊・山羊・豚・鶏）の歴史と品種、特徴について理解する
- 2) 各家畜の消化器の形態と機能、食性について理解する
- 3) 各家畜の性周期と繁殖生理について理解する
- 4) 各家畜の飼育施設の概要について理解する
- 5) 各家畜の食性と飼養法について理解する

3. 実験動物

- 1) 動物実験の目的、意義について理解する
- 2) 代表的な実験動物の飼育管理、繁殖法について理解する
- 3) 遺伝学的制御、微生物学的制御、環境制御について理解する
- 4) 疾患モデル動物について理解する

4. 野生動物

- 1) 野生動物の分類と生物多様性について理解する
- 2) 鳥獣害の現状と保全の意義について理解する
- 3) 絶滅危惧種の定義と含まれる動物、原因、保全方法について理解する
- 4) 外来生物の定義、在来生態系に及ぼす影響、対策について理解する

5. 展示動物

- 1) 展示動物の意義と動物園等の役割について理解する
- 2) 動物園等における個体群管理、飼養について理解する
- 3) 動物園等の施設管理について理解する

動物看護関連法規 (御意見を踏まえ一部修正)

概要

動物看護に関連する基本的な法規について学び、社会における愛玩動物看護師の役割を理解する。

到達目標

1. 法学総論
 - 1) 法の体系について理解する
 - 2) 獣医療に関連する法規と愛玩動物看護師の関わりについて理解する
2. 愛玩動物看護師法
 - 1) 愛玩動物看護師法の目的・定義等について理解する（免許、試験、業務、罰則を含む）
3. 獣医療関連行政法規
 - 1) 獣医師法の概要について理解する
 - 2) 獣医療法の概要について理解する
4. 公衆衛生行政法規
 - 1) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の概要について理解する
 - 2) 狂犬病予防法の概要について理解する
5. 薬事行政法規
 - 1) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の概要について理解する
 - 2) 麻薬及び向精神薬取締法の概要について理解する
 - 3) 毒物及び劇物取締法の概要について理解する

動物愛護・適正飼養関連法規（御意見を踏まえ一部修正）

概要

動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する。

1. 愛護、適正飼養の基本となる概念
 - 1) 愛護、適正飼養に関連する法規と愛玩動物看護師の関わりについて理解する
2. 愛護・適正飼養関連行政法規
 - 1) 動物の愛護及び管理に関する法律の概要について理解する
 - 2) 愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律の概要について理解する（事務局注：「動物看護関連法規」から移動）
3. 社会福祉行政・環境衛生法規
 - 1) 身体障害者補助犬法について概要を理解する
 - 2) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の概要について理解する
 - 3) 化製場等に関する法律の概要について理解する
4. 野生動物等に関する法律及び条約
 - 1) 生物多様性の概要について理解する
 - 2) 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の概要について理解する
 - 3) 絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約の概要について理解する
 - 4) 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律の概要について理解する

- 5) 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の概要について理解する
- 6) 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約の概要について理解する
- 7) 自然公園法における野生動植物保護に関する制度を理解する
- 8) 文化財保護法における飼育動物や野生生物の保護に関する制度を理解する

<基礎動物看護学>

動物看護学概論 (適正飼養に関連するものを削除)

概要

獣医療の歴史や愛玩動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。

到達目標

1. 動物看護の基本となる概念
 - 1) 動物看護の目的、概念について理解する
 - ~~2) 動物の適正飼養の目的、概念について理解する~~
 - 2) 獣医療と動物看護の歴史について理解する
 - 3) 獣医療倫理、動物看護者の倫理綱領について理解する
 - 4) 動物にとっての健康、福祉、QOLについて理解する
 - 5) 動物病院における愛玩動物看護師の役割について理解する
 - ~~7) 地域動物保健(学校飼育動物など)における愛玩動物看護師の役割について理解する~~
2. 動物看護の提供体制
 - 1) 社会における動物病院の役割について理解する
 - 2) 一次診療と二次診療、救急獣医療の役割と連携について理解する
 - 3) インフォームドコンセント、守秘義務について理解する
 - 4) 診療録(カルテ)と動物看護記録の作成、保存義務について理解する
 - 5) 職場における労働安全衛生、危険の防止・対処法について理解する
3. 愛玩動物看護師の社会的立場
 - 1) 愛玩動物看護師の職能団体について理解する
 - 2) 愛玩動物看護師の資格制度と業務範囲、資格認定機関について理解する
 - 3) 愛玩動物看護師に関するその他の代表的な組織・団体について理解する
 - 4) 国際的な動物看護師の業務や資格制度の違いについて理解する

動物病理学

概要

様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。

到達目標

1. 動物病理学の基礎
 - 1) 病理解剖と病理組織学的検査の目的、意義について理解する
 - 2) 病理組織標本の作製法について理解する
 - 3) 病理組織学的検査の実施手順について理解する
2. 細胞や組織に生じる変化

- 1) 変性と物質沈着について理解する
 - 2) 壊死とアポトーシスについて理解する
 - 3) 細胞増殖のメカニズム、再生と化生について理解する
 - 4) 過形成と肥大について理解する
 - 5) 低形成と萎縮について理解する
3. 循環障害
- 1) 充血とうっ血について理解する
 - 2) 出血の原因と病態について理解する
 - 3) 血栓の成因について理解する
 - 4) 虚血と梗塞について理解する
 - 5) 浮腫と水腫について理解する
 - 6) ショックの原因と分類、病態について理解する
 - 7) 播種性血管内凝固 (DIC) の病態について理解する
4. 炎症
- 1) 炎症の定義と5大主徴について理解する
 - 2) 炎症の分類と原因と特徴について理解する
 - 3) 炎症に関与する細胞と化学伝達物質について理解する
 - 4) 炎症の経過と治癒について理解する
5. 腫瘍
- 1) 腫瘍の定義と分類について理解する
 - 2) 腫瘍の原因と発生機序について理解する
 - 3) 腫瘍と宿主の関係について理解する
 - 4) 腫瘍の転移と進行について理解する
6. 先天異常
- 1) 遺伝子・染色体異常について理解する
 - 2) 発生異常と奇形について理解する

動物薬理学

概要

代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。

到達目標

1. 動物薬理学の基礎
 - 1) 獣医臨床における薬物治療の概念と目的について理解する
 - 2) 薬理作用とその発現機構について理解する
 - 3) 薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）と半減期、耐性について理解する
 - 4) 薬物間相互作用について理解する

- 5) 副作用と中毒について理解する
2. 愛玩動物看護師による薬物の取り扱い
 - 1) 投薬量計算について理解する
 - 2) 各種投薬法（投与経路）を理解し、自宅での投薬を飼い主に指導できる
 - 3) 薬物の適切な管理方法について理解する
3. 神経系に作用する薬物
 - 1) 全身麻酔薬と局所麻酔薬について理解する
 - 2) 鎮痛薬について理解する
 - 3) 運動神経系に作用する薬について理解する
 - 4) 鎮静薬と抗けいれん薬について理解する
 - 5) 問題行動の治療に用いられる薬について理解する
4. 呼吸器系に作用する薬物
 - 1) 呼吸興奮薬について理解する
 - 2) 鎮咳薬について理解する
 - 3) 気管支拡張薬について理解する
5. 循環器・泌尿器に作用する薬物
 - 1) 血管拡張薬（降圧薬）について理解する
 - 2) 心不全治療薬（強心薬）について理解する
 - 3) 抗不整脈薬について理解する
 - 4) 利尿薬について理解する
6. 消化器に作用する薬物
 - 1) 制吐薬について理解する
 - 2) 制酸薬と胃粘膜保護薬について理解する
 - 3) 消化管運動促進薬について理解する
 - 4) 止瀉薬について理解する
 - 5) 瀉下薬について理解する
 - 6) 肝疾患の治療に用いられる薬物について理解する
 - 7) 膵酵素製剤について理解する
7. オータコイド、代謝・内分泌系の薬物
 - 1) 代表的なオータコイドについて理解する
 - 2) 糖尿病治療薬について理解する
 - 3) 甲状腺ホルモン製剤について理解する
 - 4) ステロイドホルモン製剤について理解する
8. 血液・免疫系に作用する薬物
 - 1) 抗貧血薬について理解する
 - 2) 血液凝固抑制薬について理解する
 - 3) 血液凝固促進薬（止血薬）について理解する
 - 4) 非ステロイド系抗炎症薬（NSAIDs）について理解する

- 5) 免疫抑制薬について理解する
9. 化学療法薬
 - 1) 抗菌薬について理解する（作用機序による分類、抗菌スペクトルなど）
 - 2) 抗真菌薬について理解する
 - 3) 駆虫薬について理解する
 - 4) 殺虫薬について理解する
 - 5) 抗がん剤について理解する

動物感染症学

概要

微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。感染防御に関わる免疫学の基礎について理解する。

到達目標

1. 微生物の分類と特徴
 - 1) 細菌の分類、形態、増殖方法及び病原性について理解する
 - 2) ウイルスの分類、形態、増殖方法及び病原性について理解する
 - 3) 真菌の分類、形態、増殖方法及び病原性について理解する
2. 微生物検査
 - 1) 検体採取と取扱いについて理解する
 - 2) 無菌環境下で必要な手技について理解する
 - 3) 微生物染色法、顕微鏡による観察法について理解する
 - 4) 微生物培養法について理解する
 - 5) 抗原検出法、抗体検出法、遺伝子検出法（PCR検査含む）について理解する
 - 6) 薬剤感受性試験について理解する
3. 寄生虫の分類と特徴
 - 1) 原虫の分類、形態、生活環及び病原性について理解する
 - 2) 蠕虫（吸虫、条虫、線虫）の分類、形態、生活環及び病原性について理解する
 - 3) 衛生動物（ダニ、ノミなど）の分類、形態、生活環及び病原性について理解する
 - 4) 寄生虫疾患の検査、診断法について理解する
 - 5) 駆虫薬や駆除剤の使用法について理解する
4. 動物感染症
 - 1) 病原体の感染経路と伝播様式について理解する
 - 2) 感染症の成立要因について理解する
 - 3) 主な感染症（動物臨床看護学各論の3. 代表的な疾患を参照）の症状、治療法、予防法について理解する

- 4) 消毒、滅菌法について理解する
- 5) 院内感染の予防対策について理解する
5. 免疫学の基礎と応用
 - 1) 免疫担当細胞とその役割について理解する
 - 2) 自然免疫と獲得免疫について理解する
 - 3) 液性免疫と細胞性免疫について理解する
 - 4) アレルギー（I～V型）と自己免疫疾患について理解する
 - 5) ワクチンの原理と種類、接種プログラムについて理解する

公衆衛生学

概要

環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。

到達目標

1. 公衆衛生の概要
 - 1) 公衆衛生の目的について理解する
 - 2) 公衆衛生行政について理解する
 - 3) 国民衛生の動向について理解する
 - 4) One Health と獣医療の関係について理解する
2. 疫学と疾病予防
 - 1) 感染の成立について理解する
 - 2) 疾病・健康障害の発生要因について理解する
 - 3) 疫学調査法について理解する
 - 4) 予防疫学について理解する
 - 5) 人獣共通感染症とその対策について理解する
 - 6) 狂犬病予防について理解する
3. 環境衛生
 - 1) 環境衛生について、歴史、背景、現在の問題点について理解する
 - 2) 化学物質によってもたらされる健康障害について理解する
 - 3) 放射線による汚染と障害について理解する
 - 4) 衛生動物による人や動物への被害と対策について理解する
 - 5) 動物の咬傷による人への健康障害について理解する
 - 6) 廃棄物の取扱いについて理解する
4. 食品衛生
 - 1) 食品衛生と食中毒について理解する
 - 2) 動物性食品の衛生について理解する
 - 3) 食品衛生管理手法（HACCP など）について理解する

<臨床動物看護学>

動物内科看護学（御意見を踏まえ、動物臨床検査学の一部を移動（7～13））

概要

内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録等について理解する。

到達目標

1. 健康の保持・増進
 - 1) 健康診断の内容・目的について理解する
2. 診療補助に必要な技術
 - 1) 診察における愛玩動物看護師の役割について理解する
 - 2) 診察室の準備と衛生管理について理解する
 - 3) 動物種ごとの適切な接し方について理解する
 - 4) 保定の基本的な原理、目的、方法について理解する
 - 5) 身体検査・アセスメント項目（体重、体温、脈拍、呼吸、意識レベル、粘膜色、股動脈圧、毛細血管再充満時間（CRT）、体表リンパ節など）について理解する
3. 検査・処置に必要な技術
 - 1) 注射器の取扱い及び管理方法について理解する
 - 2) 採血の目的・方法について理解する
 - 3) 採尿の目的・方法（穿刺、カテーテル導尿など）について理解する
 - 4) 穿刺・吸引について理解する
 - 5) 各種カテーテル挿入について理解する
 - 6) 酸素吸入について理解する
 - 7) マイクロチップの挿入について理解する
4. 投薬に関わる技術
 - 1) 薬の処方について理解する
 - 2) 内服薬の使用法について理解する
 - 3) 薬剤の注射法について理解する
 - 4) 外用薬の使用法、薬浴の実施法について理解する
 - 5) 投薬前後の注意事項について理解する
5. 輸液に関わる技術
 - 1) 輸液の適応とリスクについて理解する
 - 2) 輸液計画について理解する
 - 3) 各種輸液剤の特性や適応について理解する
 - 4) 輸液中のモニタリングについて理解する
6. 輸血に関わる技術
 - 1) 輸血の適応とリスクについて理解する

- 2) 輸血計画について理解する
- 3) クロスマッチ試験と血液型について理解する
- 4) 各種輸血製剤の適応や特性について理解する
- 5) 輸血に関わる手技について理解する
- 6) 輸血による副反応について理解する
- 7. 心電図と血圧に関わる技術
 - 1) 心電図検査の目的と意義について理解する
 - 2) 心電図検査の実施方法について理解する
 - 3) 血圧測定の方法と意義、注意点について理解する
- 8. X線検査とCT/MRIに関わる技術
 - 1) X線検査の目的と意義について理解する
 - 2) 放射線防護について理解する
 - 3) X線検査の実施方法と撮影体位について理解する
 - 4) 造影検査と透視撮影について理解する
 - 5) フィルムの現像とデジタルX線撮影について理解する
 - 6) CT及びMRIの概要について理解する
 - ~~6) 被ばくの問題点と被ばく管理法について理解する~~
- 9. 超音波検査に関わる技術
 - 1) 超音波検査の目的と実施方法、保定体位について理解する
 - 2) Bモード、Mモード、ドップラー法について理解する
- 10. 内視鏡検査に関わる技術
 - 1) 内視鏡検査の目的と意義について理解する
 - 2) 内視鏡検査の実施方法、準備事項について理解する
 - 3) スコープの洗浄・消毒における注意点について理解する
- 11. 神経学的検査に関わる技術
 - 1) 姿勢反応と脊髄反射について理解する
 - 2) 脳神経の検査法について理解する
 - 3) 神経学的検査の評価記録法について理解する
- 12. 眼科検査に関わる技術
 - 1) シルマー試験、フルオレセイン試験の方法と意義について理解する
 - 2) 眼圧測定の方法と意義について理解する
 - 3) 眼底検査の方法と意義について理解する
- 13. 皮膚と耳の検査に関わる技術
 - 1) 皮膚病変の観察と記録法について理解する
 - 2) 皮膚搔爬試験、スタンプ検査、被毛検査、皮膚生検について理解する
 - 3) ウッド灯検査と真菌培養法について理解する
 - 4) 外耳道の検査方法と意義について理解する

動物外科看護学 (御意見を踏まえ、周術期看護を追加)

概要

外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。

到達目標：

1. 外傷、創傷管理
 - 1) 創傷の種類と治癒過程と管理方法について理解する
 - 2) ドレーンの装着と管理法について理解する
 - 3) 止血法について理解する
 - 4) 骨折・脱臼の管理について理解する
2. 周術期看護
 - 1) 外科的治療を受ける疾病動物に対し、周術期（術前、術中、術後）を通して、看護過程に基づく看護を提供する役割と責任について理解する
3. 術前準備
 - 1) 術前手続き（飼い主への説明、承諾書など）や術前検査について理解する
 - 2) 無菌的処置の重要性について理解する
 - 3) 手術衣、タオル・ドレープ類の準備、滅菌法について理解する
 - 4) 手術器具の準備と滅菌法について理解する
 - 5) 手術室の機器類（无影灯、電気メス本体など）、準備について理解する
 - 6) 器械台の準備について理解する
 - 7) 動物の適切なポジショニングについて理解する
 - 8) 術野の消毒について理解する
4. 麻酔
 - 1) 麻酔処置時における愛玩動物看護師の役割について理解する
 - 2) 麻酔リスクの評価（ASA分類など）について理解する
 - 3) 麻酔前投与（鎮静など）について理解する
 - 4) 注射麻酔（局所麻酔含む）の手技について理解する
 - 5) 吸入麻酔の手技について理解する
 - 6) 導入時、覚醒時のリスクと対処法について理解する
 - 7) 麻酔看視項目（心電図、心拍数、呼吸数、体温、血圧、動脈血酸素飽和度、二酸化炭素濃度など）の監視方法、意義について理解する
 - 8) 麻酔記録の作成法について理解する
5. 術中補助
 - 1) 代表的な手術器具（メス、鉗子など）の名称と使用法について理解する
 - 2) 代表的な縫合材（縫合針、縫合糸）の分類と使用法について理解する
 - 3) 代表的な歯科器具の名称と使用法について理解する
 - 4) 直接補助（手袋着用下での補助）の内容について理解する

- 5) 間接補助（手術回りの補助）の内容について理解する
6. 術後管理
 - 1) 麻酔覚醒後の動物のモニタリングについて理解する
 - 2) 疼痛管理の意義と方法について理解する
 - 3) 術創管理と包帯法について理解する
 - 4) 退院時の注意点と飼い主への説明事項について理解する
 - 5) 褥創の予防及び対処法（体位変換など）について理解する
7. 救急救命
 - 1) エマージェンシーの原因と病態について理解する
 - 2) 一次救命措置（BLS）について理解する
 - 3) 二次救命措置（ALS）について理解する
 - 4) 気管内挿管と心肺蘇生の方法について理解する
8. 動物理学療法
 - 1) 動物理学療法の目的と意義について理解する
 - 2) 代表的な理学療法の方法と手技について理解する

動物臨床看護学総論（御意見を踏まえ、一部修正）

概要

動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。

到達目標

1. 動物看護過程の展開
 - 1) 動物看護過程の目的や意義、方法について理解する
 - 2) 動物看護過程の各ステップについて理解する
 - 3) アセスメントについて理解する
 - 4) 事例ごとの個別性、情報の整理と解釈について理解する
 - 5) 問題の明確化と動物看護計画の立案について理解する
 - 6) 動物看護過程の実施と評価について理解する
2. 診療記録
 - 1) 診療録（カルテ）の作成方法について理解する
 - 2) 動物看護記録の目的や書式、事例に応じた作成法について理解する
3. 動物看護業務
 - 1) チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割について理解する
 - 2) ケアの標準化（クリティカルパス）について理解する
 - 3) 事故管理、防止システムについて理解する
 - 4) 若齢動物看護の特徴について理解する
 - 5) 老齢動物看護の特徴や認知障害、褥瘡について理解する

- 6) 家庭での継続看護を視野に入れた退院計画・指導について理解する
4. ターミナルケアに関わる技術
 - 1) ターミナルケアの目的と意義について理解する
 - 2) QOL やホスピス、緩和ケアについて理解する
 - 3) グリーフケアについて理解する
 - 4) 死亡した動物への対応とエンゼルケアについて理解する

動物臨床看護学各論 (御意見を踏まえ、一部修正)

概要

様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。

1. 徴候や疾患の理解と対処
 - 1) 代表的な徴候や病態、疾患について理解する
 - 2) 徴候の評価と記録法について理解する
 - 3) 痛みの評価について理解する (事務局注：2) と3) の位置を入れ替え)
 - 4) 徴候・疾患に基づいた援助について理解する
2. 代表的な徴候
 - 1) 全身徴候
食欲不振・廃絶、元気喪失、発熱、疼痛、消瘦
 - 2) 特異的徴候
運動不耐、咳、心雑音、不整脈（房室ブロック、期外収縮、心房・心室細動）、高血圧、努力性呼吸、流涎、嘔吐、吐出、下痢、便秘、血便、黄疸、頻尿、血尿、多飲多尿、跛行、掻痒、発作、視力障害、難聴、眼振、斜頸、貧血、出血傾向
 - 3) 特異的病態
尿毒症、肝性脳症、褥瘡、播種性血管内凝血（DIC）
3. 代表的な疾患
 - 1) 循環器疾患
僧帽弁逆流症、心筋症、血栓塞栓症、腹膜横隔膜ヘルニア、心房中隔欠損、心室中隔欠損、卵円孔開存、右大動脈弓遺残症、動脈管開存症、犬糸状虫症
 - 2) 呼吸器疾患
猫の上部気道感染症、鼻炎、軟口蓋過長、気管虚脱、短頭種気道症候群、気管支拡張症、気管支炎、肺炎、肺水腫、猫の喘息、膿胸、ジステンパー、ケンネルコフ
 - 3) 消化器・栄養代謝性疾患
歯石症、不正咬合、歯肉炎、歯周炎、口蓋裂、口内炎、食道炎、食道狭窄、巨大食道症、幽門狭窄、胃拡張胃捻転症候群（GDV）、胃炎、蛋白喪失性腸症（PLE）、炎症性腸疾患（IBD）、食事反応性下痢（FRD）、抗菌薬反応性下痢（ARD）、腸リンパ管拡張

張症、消化管内異物、腸閉塞、腸捻転、腸重積、巨大結腸症、直腸脱、会陰ヘルニア、パルボウイルス感染症、肝炎、肝硬変、肝リピドーシス、門脈体循環シャント、胆嚢粘液嚢腫、膵炎、膵外分泌不全症（EPI）

4) 泌尿器疾患

急性腎障害（AKI）、慢性腎臓病（CKD）、腎盂腎炎、蛋白喪失性腎症（PLN）、尿路感染症、尿石症、膀胱炎、猫下部尿路疾患（FLUTD）、尿道閉塞症、レプトスピラ症

5) 内分泌疾患

甲状腺機能低下症、甲状腺機能亢進症、糖尿病、副腎皮質機能亢進症（クッシング症候群）、副腎皮質機能低下症（アジソン病）、尿崩症

6) 生殖器疾患

潜在精巢、前立腺炎、前立腺肥大、子宮蓄膿症、偽妊娠、難産、膣脱、乳腺炎、犬ブルセラ症、乳腺腫瘍

7) 整形外科疾患

骨折、脱臼、膝蓋骨脱臼、関節炎、変形性関節症、前十字靭帯断裂、股異形成、レッグペルテス病、骨肉腫

8) 皮膚疾患

膿皮症、脂漏症、アトピー性皮膚炎、ノミアアレルギー性皮膚炎、好酸球性肉芽腫、食物アレルギー、天疱瘡、外耳炎、疥癬、耳ヒゼンダニ症、毛包虫症、皮膚糸状菌症、マラセチア皮膚炎、メラノーマ

9) 神経疾患

脳炎、水頭症、てんかん、ウォブラー症候群、椎間板ヘルニア、変形性脊椎症、馬尾症候群

10) 眼疾患

結膜炎、角膜炎、乾性角結膜炎、角膜潰瘍、ぶどう膜炎、緑内障、白内障、核硬化症、流涙症、第三眼瞼腺脱出（チェリーアイ）、異所性睫毛

11) 造血器・免疫介在性疾患

免疫介在性溶血性貧血（IMHA）、ネギ中毒、ヘモプラズマ症、バベシア症、腎性貧血、血友病、猫伝染性腹膜炎（FIP）、猫白血病ウイルス（FeLV）感染症、猫免疫不全ウイルス（FIV）感染症、リンパ腫、白血病、肥満細胞腫

12) 緊急疾患

交通事故、感電、熱傷、熱中症、中毒、誤飲、ショック、アナフィラキシー

4. 担がん動物の看護

- 1) がんの診断のための検査と治療の手順について理解する
- 2) 腫瘍随伴症候群（がん性悪液質など）について理解する
- 3) がんの治療を受けている動物の看護援助について理解する
- 4) 担がん動物の治療と化学療法の副作用について理解する

動物臨床検査学（御意見を踏まえ、動物臨床検査学の一部を動物内科看護学に移動）

概要

様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方について理解する。

到達目標

1. 臨床検査の基礎
 - 1) 臨床検査における愛玩動物看護師の役割について理解する
 - 2) 基準値、感度、特異度、**精度管理**について理解する
 - 3) 検体採取法（血液、尿、便、粘膜、スワブ、体表組織等）について理解する
2. 血液検査
 - 1) 血漿、血清の分離法について理解する
 - 2) 全血球計算法（CBC）について理解する
 - 3) 血液塗抹の作製及び観察法について理解する
 - 4) ヘマトクリット管を用いた検査について理解する
 - 5) 凝固検査の目的と意義について理解する
 - 6) 生化学検査の目的と意義について理解する
 - 7) 血液ガス検査の目的と意義について理解する
 - 8) 免疫学的検査の目的と意義について理解する
3. 尿検査
 - 1) 尿の性状検査について理解する
 - 2) 尿沈渣について理解する
4. 糞便検査
 - 1) 虫卵・原虫の検出法について理解する
 - 2) 細菌の観察法について理解する
5. 細胞診と病理組織検査
 - 1) 細胞診断の目的と方法について理解する
 - 2) 病理組織検査のための検体の取扱いについて理解する
6. 遺伝子検査
 - 1) 遺伝子検査の目的と応用例について理解する
 - 2) 遺伝子検体の採取及び取扱いについて理解する

動物医療コミュニケーション（御意見を踏まえ、一部修正）

概要

事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する。

到達目標

1. クライアントエデュケーション

- 1) 適正飼育について理解し、健康管理のため必要な情報を飼い主に提供できる
- 2) 動物と飼い主が良好な関係を構築する方法について理解する
- 3) 病気の適切な予防法（予防接種、フィラリア予防、ノミ・ダニ予防、歯科予防、去勢・不妊手術など）について理解する
- 4) 在宅看護等におけるコミュニケーション技能について理解する

2. 院内コミュニケーション

- 1) 飼い主への指導教育を主体としたインフォームドコンセントについて理解する
- 2) 獣医療面接のプロセス（導入、稟告、質問、傾聴、要約、確認、終結など）について理解する
- 3) チーム獣医療に関するコミュニケーション技能（報告・連絡・相談）について理解する

3. 院内業務

- 1) 受付業務（診療受付、電話対応、清算、トラブル対応など）について理解する
- 2) 物品購入や管理について理解する
- 3) ペット保険について理解する

<愛護・適正飼養学>

伴侶動物学愛玩動物学 (御意見を踏まえ、一部修正)

概要

伴侶動物愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼育管理方法について理解する。

到達目標

1. 歴史と品種
 - 1) 犬の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ (品種に適したトリミング等) について理解する
 - 2) 猫の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ (品種に適したトリミング等) について理解する
 - 3) 代表的なエキゾチック動物の種類と特徴、生態について理解する
 - 4) 血統と血統書について理解する
2. 使役動物
 - 1) 使役動物 (犬、その他の動物) の歴史と福祉について理解する
 - 2) 補助犬 (盲導犬、聴導犬、介助犬) の歴史と現状について理解する
 - 3) 補助犬 (盲導犬、聴導犬、介助犬) の役割と育成、適性について理解する
 - 4) その他の使役犬 (災害救助犬、警察犬、麻薬探知犬、検疫探知犬など) の種類と特徴及び現状について理解する
3. 伴侶動物愛玩動物の飼育管理
 - 1) 犬の適切な飼育管理方法 (飼養上の特徴、飼育環境、体調管理、不妊去勢、社会化訓練等) について理解する
 - 2) 猫の適切な飼育管理方法 (飼養上の特徴、飼育環境、体調管理、不妊去勢等) について理解する
 - 3) 愛玩鳥の適切な飼育管理方法 (飼育環境、体調管理等) について理解する
 - 4) 代表的なエキゾチック動物 (ウサギ、ハムスター等) の適切な飼育管理方法 (飼養上の特徴、飼育環境、体調管理等) について理解する
4. 動物の基本的な取扱い
 - 1) 動物を安全に散歩・運動させることの意義について理解する
 - 2) 基本的グルーミング (シャンプー、ブラッシング、耳掃除、爪切り、肛門嚢処置、口腔内衛生管理など) の目的・方法について理解する
 - 3) 適切な飼育環境やストレスの緩和方法について理解する

人と動物の関係学 (御意見を踏まえ一部修正)

概要

動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史、~~動物愛護・動物福祉 (アニマルウェルフェア)~~ 及びその基礎となる生命倫理の考え方について学び、人と動物の関係

を心理学的及び社会学的側面から、**その実態と課題等を含めて理解する。**

到達目標

~~1. 生命倫理の概念（事務局注：1～3は動物福祉・倫理に移動）~~

- ~~1) 生命倫理の考え方について理解する~~
- ~~2) 生命倫理と獣医療の関わりについて理解する~~

~~2. 動物福祉の概念~~

- ~~1) 動物福祉の考え方について理解する~~
- ~~2) 「5つの自由」（飢え・渇きからの自由、痛み・負傷・病気からの自由、不快からの自由、本来の行動がとれる自由、恐怖・抑圧からの自由）について理解する~~
- ~~3) 世界と日本における近代及び現代の動物愛護運動について理解する~~
- ~~4) 「動物の権利」、「動物福祉」思想や問題について理解する~~
- ~~5) 動物福祉の生理学的指標及び行動的指標による評価法を理解する~~
- ~~6) 安楽死の考え方について理解する~~

~~3. 動物の福祉と倫理~~

- ~~1) 動物の福祉、適正飼育上の問題について理解する（実験動物の3R（Replacement（代替）、Reduction（削減）、Refinement（改善））の概念、産業動物の5つの自由、展示動物のエンリッチメントを含む）~~
- ~~2) 国内外の動物保護活動について現状と課題について理解する~~
- ~~3) 飼育放棄や殺処分問題、対策について理解する~~
- ~~4) 動物虐待の定義（積極的な虐待とネグレクト）と現状、対策について理解する~~

1. 人間と動物の関わり

- 1) 動物の飼育・利用の歴史について理解する
- 2) 欧米と日本の動物観、動物との関わり方の相違について理解する
- 3) 動物の飼育と利用の現状について理解する

2. 人間の福祉と愛玩動物の関わり

- 1) 動物虐待と対人暴力の連動性についての基礎知識について理解する
- 2) 多頭飼育崩壊（アニマル・ホーディング）について理解する
- 3) 愛玩動物が高齢者に与える恩恵及び加齢に伴って飼育困難になる様々な事情について理解する

3. 動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育

- 1) 動物との接触が人間に与える身体的・心理的影響について理解する
- 2) 動物介在活動／動物介在療法／動物介在教育の目的と内容について理解する
- 3) 動物介在活動／動物介在療法／動物介在教育に使用される動物の公衆衛生学的適性、行動学的適性について理解する
- 4) 動物介在活動／動物介在療法／動物介在教育に対する動物病院や愛玩動物看護師の関わりについて理解する
- 5) 学校飼育動物の目的や実態、愛玩動物看護師の関わりについて理解する（文部科

学省が道德教育の一環として認めていることを含む)

適正飼養教育学適正飼養指導論 (御意見を踏まえ、一部修正)

概要

愛玩動物の効用や飼育目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育等の実態と課題災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。

到達目標

1. 愛玩動物の飼育

- 1) 愛玩動物の適正飼養の目的、概念について理解する (動物看護学総論から移動)
- 2) 愛玩動物飼育の現状について理解する
- 3) 愛玩動物飼育によって人間が受ける恩恵と問題点について理解する
- 4) 愛玩動物の飼育のニーズや目的を理解するとともに、グリーンケア、ペットロスについてその概要と飼い主の心情を理解し、必要な支援について理解する

2. 適正飼養の推進

- 1) 適正飼養に関する支援の目的と活動について理解する
- 2) 動物取扱業者における適正飼養について理解する
- 3) 愛玩動物の過剰繁殖の問題とその対策について理解する
- ~~3. 動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育 (事務局注：人と動物の関係学に移動)~~
 - ~~1) 動物との接触が人間に与える身体的・心理的影響について理解する~~
 - ~~2) 動物介在活動/動物介在療法/動物介在教育の目的と内容について理解する~~
 - ~~3) 動物介在活動/動物介在療法/動物介在教育に使用される動物の公衆衛生学的適性、行動学的適性について理解する~~
 - ~~4) 動物介在活動/動物介在療法/動物介在教育に対する動物病院や愛玩動物看護師の関わりについて理解する~~
 - ~~5) 学校飼育動物の目的や実態、愛玩動物看護師の関わりについて理解する (文部科学省が道德教育の一環として認めていることを含む)~~

3. 災害危機管理と支援

- 1) 災害時の同行避難の重要性を理解し、説明できる
- 2) 愛玩動物とその飼い主の災害の備えについて理解し、説明できる
- 3) 災害獣医療の概要と災害時における愛玩動物看護師の役割について理解する

4. 動物愛護管理行政

- 1) 飼い主指導の基盤として、公衆衛生業務における愛玩動物看護師の役割について理解する
- 2) 動物愛護週間の役割と実施状況について理解する
- 3) 犬・猫の取引及び負傷動物などの収容並びに処分の状況について理解する

- 4) 動物による事故の内容と報告状況について理解する
- 5) 動物愛護管理センターの活動及び動物愛護推進員・協議会の役割について理解する
- 6) 動物取扱責任者の選任条件と役割について理解する

動物生活環境学 (新科目)

概要

ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設及び動物介在教育施設の整備及び管理運営の方法、リスクアセスメントやマナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する。

到達目標

1. ペット共生住宅
 - 1) ペット共生住宅の現状と整備手法について理解する
 - 2) 人とペットのための住環境の整備の必要性や効用について理解する
 - 3) ペット共生住宅の設計、管理運営について理解する
2. ペットツーリズム関連施設、ドッグラン
 - 1) ペットツーリズムの現状と実施方法について理解する
 - 2) ペット同伴宿泊ホテルの設計、管理運営について理解する
 - 3) ドッグランの設計、管理運営について理解する
 - 4) ペットを活用した観光地の振興計画について理解する
 - 5) ペット関連のイベント活動の企画運営方法や留意点について理解する
 - 6) その他、人と共に環境を共有するサービスについて理解する
3. 保護収容施設
 - 1) 動物シェルターや災害時の避難施設の設計、管理運営について理解する
 - 2) 動物愛護管理センターの役割、施設の概要、普及啓発活動について理解する
4. ペットの教育・訓練施設
 - 1) 社会化トレーニングの意義や必要性について理解する
 - 2) しつけ等を行う訓練施設の内容について理解する
 - 3) 幼齢動物の社会化教育施設の内容について理解する
5. 動物介在教育施設
 - 1) 学校飼育動物の施設の設計、管理運営について理解する
6. ペットのリスクアセスメント
 - 1) リスクアセスメントの意義や方法論について理解する
 - 2) ペットに関する各種のリスクの存在と対応策について理解する
 - 3) ペット保険の仕組みと実態について理解する
7. ペット飼育のマナー
 - 1) マナーの必要性や目的について理解する

- 2) マナーの歴史、地域におけるマナーの違いについて理解する
- 3) 地方自治体において定められているマナーに関する各種の条例について理解する
- 4) 犬・猫・愛玩鳥・ウサギなどの動物の種類別に必要とされているマナーについて理解する

ペット関連産業概論 (新科目)

概要

ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼育のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。

到達目標

1. ペット関連産業における職業倫理（行動倫理を含む）
 - 1) 責任と社会的役割を理解する（職業倫理）
 - 2) 商取引における関連法規の概要について理解する（商法、消費者基本法、消費者契約法）
 - 3) 顧客の個人情報保護に関する法令の概要について理解する（個人情報の保護に関する法律）
 - 4) 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事前説明の意義や必要性、実施方法について理解する
2. ペットの飼育実態と市場規模
 - 1) ペットの飼育の実態（飼育ニーズの変遷、飼育数、入手経路・室内飼い・不妊去勢・ペットフードの普及状況など）
 - 2) ペット関連産業の概要と市場規模（どんな業種があるか、その広がり、歴史、関連支出額・売上額など）
3. 各ペット関連産業の現状と課題
 - 1) 生体分野
 - 2) ペットフード分野
 - 3) ペット用品分野
 - 4) 美容・しつけ・ケア分野
 - 5) レクリエーション・観光分野
 - 6) 葬儀・霊園分野
 - 7) 獣医療分野
 - 8) ペット共生住宅・マンション分野
 - 9) その他
4. 動物取扱業
 - 1) 動物取扱業制度の概要
 - 2) 第一種動物取扱業の登録手続きの実際

- 3) 動物取扱責任者制度
 - 4) 犬猫等販売業者の業務実施方法（犬猫等健康安全計画など）
 - 5) 施設的设计基準及び衛生管理
 - 6) 健康と安全に留意した動物の取扱方法
5. ペットの後見制度
- 1) ペットの譲渡活動・施設について理解する
 - 2) ペットの後見人信託制度について理解する

<実習>

動物形態機能学実習

概要

動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。

到達目標

1. 運動器

- 1) 骨格標本を用いて代表的な骨を観察し、名称と特徴について理解する
- 2) 代表的な関節の名称と構造、機能について理解する
- 3) 代表的な骨格筋の名称と構造、機能について理解する

2. 内臓器官

- 1) 模型などを用いて、主要な内臓器官の配置について理解する
- 2) 生殖器の雌雄差について理解する

3. 顕微鏡の取扱い

- 1) 顕微鏡各部位の名称、鏡検条件（倍率など）について理解する
- 2) 顕微鏡の適切な操作法について修得する
- 3) 顕微鏡の適切な管理法について修得する

4. 組織像の観察

- 1) 主要臓器の組織像を顕微鏡で観察し、特徴について理解する
- 2) 組織像に見られる代表的な構造に関し、機能との関係について理解する

動物内科看護学実習（動物臨床検査学実習の一部（5. 生体検査）を移動）

概要

内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。

到達目標

1. 身体検査

- 1) 全身状態（意識レベル、ボディコンディションスコア、粘膜色、体表リンパ節、体重測定を含む）を評価できる
- 2) バイタルサインを評価できる（体温、脈拍数、呼吸数、毛細血管再充満時間（CRT）、股動脈圧）

2. 診察補助

- 1) 診察の準備や診察室の衛生管理ができる
- 2) 基本的な保定を実施することができる
- 3) 聴診器や体温計、注射器を適切に取り扱うことができる
- 4) 採血・採尿（尿カテーテルの挿入を含む）の手順を修得している
- 5) 薬剤の取扱い、経口投与・注射の手順を修得している

3. 輸液・輸血に関わる技術

- 1) 留置針設置の手順を修得し、準備及び補助ができる
- 2) 輸液ポンプ、シリンジポンプを使用できる
- 3) 輸液・輸血中の動物を管理できる

4. マイクロチップに関わる技術

- 1) マイクロチップの適切な挿入部位について理解する
- 2) マイクロチップ装着手順を修得している

5. 生体検査

- 1) 心電図検査を実施し、結果を記録できる
- 2) X線撮影のための基本的な保定ができる
- 3) 放射線防護のための装備を正しく扱える
- 4) 超音波検査のための基本的な保定ができる
- 5) 神経学的検査の所見を記録できる
- 6) 眼科検査（シルマー試験、フルオレセイン試験、眼底検査など）の補助ができる
- 7) 皮膚検査（搔爬試験、スタンプ検査、被毛検査など）の補助ができる
- 8) 外耳道検査の補助ができる

動物臨床検査学実習

概要

検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。

到達目標

1. 検体検査

- 1) 検体採取・処理の手順を修得している
- 2) マイクロピペットや遠心分離器を正しく操作できる
- 3) 血漿、血清を分離できる
- 4) 血液塗抹標本を作製、染色できる
- 5) 血液塗抹標本を観察し、白血球の百分比を算出できる
- 6) 生化学検査を実施できる
- 7) 簡易血清学的検査を実施できる
- 8) 尿検査を実施し、物理化学性状を記録できる
- 9) 尿沈渣を観察し、所見を記録できる
- 10) 糞便検査を実施し、虫卵及び原虫を検出できる
- 11) 細胞診の準備、補助ができる

動物外科看護学実習

概要

手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。

到達目標

1. 術前準備
 - 1) 手術器具の準備、滅菌ができる
 - 2) 手術衣、タオル・ドレープ類を準備し滅菌できる
 - 3) 手術に必要な機器、器械台を準備できる
 - 4) 手術台への動物の固定、術野の消毒ができる
 - 5) 手洗い、手術衣や手袋の装着ができる
2. 術中補助
 - 1) 麻酔機の各部名称や使用法を理解し、指示に従って操作できる
 - 2) モニター機器（心電図、血圧計など）を接続でき、術中監視を行うことができる
 - 3) 麻酔記録を作成することができる
 - 4) 直接補助（手術の補助、器械の受渡しなど）ができる
 - 5) 間接補助（無影灯、保温マットの操作など）ができる
 - 6) 歯科器具の取扱いを理解し、歯科処置（歯石除去など）の補助ができる
3. 術後管理
 - 1) 術後の創傷管理（ネット、カラー装着なども含む）ができる
 - 2) 動物に包帯（粘着性、自着性など）を装着できる
 - 3) 抜糸の補助ができる
4. 救急救命
 - 1) 必要な機材、薬剤を迅速に準備できる
 - 2) 気管内挿管を補助できる
 - 3) 心肺蘇生（人工呼吸、心マッサージ）の手順を修得している

動物臨床看護学実習

概要

動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。

到達目標

1. 動物看護過程の実践（事例演習）
 - 1) 事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する
 - 2) 看護動物の生活環境（家族を含む）が健康に及ぼす影響を理解する
 - 3) 症状や入院・治療が看護動物と家族に及ぼす影響を理解する
 - 4) 看護動物の看護上の問題を理解し、優先順位を付けることができる

- 5) 看護動物の援助の内容・方法を立案できる
 - 6) 動物看護計画を作成できる
 - 7) 動物看護記録を作成できる
2. 入院及び栄養管理
- 1) 入院動物の管理、アセスメントができる
 - 2) ケージの清掃、管理ができる
 - 3) ペインスケールを用いて痛みの程度を評価できる
 - 4) 栄養チューブ設置の準備や流動食の調製ができる
 - 5) 褥瘡を持つ動物の看護（体位変換など）ができる

動物愛護・適正飼養実習（新科目）（御意見を踏まえ、一部修正）

概要

動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を修得する。

1. 動物の基本的な取扱い
 - 1) 動物種に応じた安全なハンドリングができる
 - 2) 動物を安全に散歩・運動させることができる
 - 3) 犬の散歩や運動のために、適切な道具（首輪・胴輪・リード・おもちゃ等）を選択することができる
 - 4) 基本的グルーミング（シャンプー、ブラッシング、耳掃除、爪切り、肛門嚢処置、口腔内衛生管理など）を実施できる
 - 5) 動物の飼育環境を適切に整備できる
2. 飼い主とのコミュニケーション
 - 1) 犬や猫の品種に応じた特徴について説明できる
 - 2) 動物の適切な飼育方法（飼育環境、散歩方法、基本的なしつけ等を含む）について指導できる
 - 3) 飼い主が法令に基づき遵守すべき対応について指導できる
 - 4) 動物の飼育が困難となっている飼い主への支援を説明できる
 - 5) 避難所等災害時の飼い主への支援を説明できる
3. 動物愛護管理行政
 - 1) 動物愛護管理センターの活動を理解する（動物愛護管理センターへの見学等を含む）
 - 2) 動物取扱業へ指導すべき内容について理解する
 - 3) 動物取扱業における顧客等への対応について実践することができる

動物看護総合実習（御意見を踏まえ、一部修正）

概要

実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。

到達目標

1. 動物看護業務の理解
 - 1) チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割を理解する
 - 2) 動物診療施設を見学し、設備や機能を理解する
 - 3) 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する
2. 動物看護業務の体験
 - 1) 診察室における獣医療補助行為を体験する
 - 2) 各種検査や処置、外科手術の補助を体験する
 - 3) 入院動物の看護を体験する
 - 4) 飼い主との適切なコミュニケーションを体験する
3. 動物看護業務の実践
 - 1) 実際の動物診療施設で、診察室における診療の補助を実践する
 - 2) スタッフと連携協働し、チーム獣医療を実践する
 - 3) 動物看護計画を立案し、実践する
 - 4) 飼い主に対し適正飼養及び療養生活の指導を実践する